ス検査も受検可能となっている。

この施設ではストリートチルドレン、いわゆるホームレスの若者も無料で食事や寝る場所が提供され、IDカードを持たないことによる種種のトラブルに関して、希望者には週一回の法律家による無料カウンセリングを受けることができ、仕事の紹介（身元引き受け）や家族との連絡（家出者も多いため）に関するアドバイスを受けることができる。また施設のボランティアはアウトリーチプログラムにより週に夜間(4日)、朝（5日）に2人1組で見回りを行い、ダウンタウンエリアの若者に情報提供や施設紹介を行っている。ピアエデュケーターの存在も大きく、HIV 検査についての情報提供や相談を行っている。施設内には裏口にシャッターが設けられており、夜間に人気を嫌う若者達がプライバシーを侵害されることなく施設内に入って来られるよう配慮されていた（下)。

Harm Reduction（ハームリダクション）：トロントのダウンタウンエリアには IDU（Injection drug use）も多く、施設では清潔な針やシリンジを提供するプログラムを行っている。またピアプログラムにより、健康への薬物のリスク、また HIV 感染へのリスクを話し合う場が設けられている。

Inner City におけるピアエデュケーションは1987年から継続されているが、スタッフの関わりに大きく勝る影響力が評価され、現在も活動が続けられている。オンタリオ州全体でも地域に密着したサービスが行われており、若者は HIV/AIDS とハームリダクション教育を drop-in（立ち寄り検査場所）やアウトリーチ（巡回）で提供している。

Advanced Peer Educator（上級ピアエデュケーター）という職種が存在し、仕事としてピアエデュケーションのトレーニングを受けながら、さらに後にフルタイム、常勤職員への道が開かれている。

ピアエデュケーションの内容としてライフスキルトレーニング（例）ではエデュケーター自身がカウンセリングとヒアリングのトレーニングを受け、HIV/AIDS の予防と危険回避（risk and harm reduction）について理論、方法論を修得。コンフリクト（何らかの事件が起こった時の）解決や被虐待、危機の予防と介入、演説（public speaking)、健全な性生活とともに心身の健康についての教育を受ける。

本施設内ではトロントの代議士にも面談することができ、ボランティアで始まった Inner City が継続した活動を続ける上で、代議士の援助や政策上のコミットメントの重要性が述べられた。

④　上記関連施設調査

トロント総合病院では米国に比して感染者は少ないものの、HIV 予防体制と診療・ケア、地域連携体制がとられている。特に、日本における拠点病院のような病院もトロント市内に数箇所存在しており、Casey House (Hospice)との連携もみられている。また、このような HIV 陽性者が通うクリニックや公共もしくは非営利組織が提供する住居は、周囲の住民に一見して分からないようにプライバシーには非常に配慮されていた。カナダにおいては薬物中毒の HIV 患者も多く、精神科医と連携したフォローアップ体制の必要性も指摘された。HIV・AIDS 関連のこのような施設では、HIV 陽性の方や AIDS 患者さん自身が施設紹介をするケースが多く、スタッフも「このような場を提供することにより、患者さん自身もポジティブな影響があるため療養生活にはプラスになっている」とのコメントが聞かれた。

【考察】トロントエイズ委員会をハブとして市内の関連施設が非常に良い連携を取っている。公的機関と民間団体、NGO、ボランティア、それぞれが頻繁に交流し、HIV 検査体制からケア・療養までの流れが外国人でも非常に理解しやすい。特に、移民の多いカナダでは国籍の無い者や外国籍の若者に対する法制度の整備が進められており、利用者の視点からのサポートが工夫されていた。日本国内ではまだ路上の若者に対する取り組みはそれほど進んでいるとは思われず、また外国人の検査体制や陽性者への対応も、法的な課題を多々残している。今後は、このような視点も踏まえたきめの細かい施策が必要と考えられた。

【考察】効果的な性教育のプログラムの特徴としては、行動変容の理論モデルに基づくこと、リスクリダクション（リスク減少）に関する情報提供、コミュニケーションやネゴシエーションのスキルの練習などが必要であるとWHOの指針により示されている[18,19]。

【結論】欧米諸国ならびにタイなどでは、エイズ予防啓発は成果を上げている。わが国においてもエイズ教育の必要性が指摘されてきたが、海外で利用されているプログラムを試験的に導入している例はあるものの、疫学的に適切なデザインを用いた定量的評価研究は少なく、またわが国の性に対する文化・慣習的な要素を考慮すると、欧米諸国で奏功したようなプログラムに同様の効果を期待できるかどうか難しい。エイズ対策は、性に関する問題に触れ、比較的一般若年層も対象に実施されるものであり、対象者に適した介入がなされない場合、エイズ予防啓発への拒否感や、自尊心の低下が逆効果として予想されるため、適切なプログラムの確立が急務である。同時に HIV 予防対策にはスケールアップが必要であり、国または地方公共団体がリーダーシップを発揮することも求められている。

＜健康危険情報＞

該当なし。

＜研究発表＞

1．論文発表

4. Takatsuka, M., T. Matsuda, T. Kodama. "Interventions to promote sexual health risk reduction in adolescents

in Japan : A literature Review 〃 AIDS Education and Prevention. (投稿中)

5. 竹原健二、松田智大、児玉知子(2006). HIV 予防介入の介入プログラムに関する文献レビュー. 日本エイズ学会誌（投稿中）

２．学会発表

１) 竹原健二, 松田智大, 児玉知子. (2006 12月). HIV 予防介入プログラムに対する評価のあり方について－RCT を用いた文献のレビューの結果より. 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京.

＜知的財産権の出願・登録状況＞

なし。

＜参考文献＞

1)Coyle KK, Kirby DB, Robin LE, Banspach SW, Baumler E, Glassman JR : All4You! A randomized trial of an HIV, other STDs, and pregnancy prevention intervention for alternative school students. AIDS Educ Prev. 18(3) : 187-203, 2006.

2) Walker D, Gutierrez JP, Torres P, Bertozzi SM : HIV prevention in Mexican schools: prospective randomised evaluation of intervention. Bmj. 332(7551) : 1189-1194, 2006.

3) DiIorio C, Resnicow K, McCarty F, De AK, Dudley WN, Wang DT, Denzmore P : Keepin' it R.E.A.L.!: results of a mother-adolescent HIV prevention program. Nurs Res. 55(1) : 43-51, 2006.

4) Clark LF, Miller KS, Nagy SS, Avery J, Roth DL, Liddon N, Mukherjee S : Adult identity mentoring: reducing sexual risk for African-American seventh grade students. J Adolesc Health. 37(4) : 337, 2005.

5) Sikkema KJ, Anderson ES, Kelly JA, Winett RA, Gore-Felton C, Roffman RA, Heckman TG, Graves K, Hoffmann RG, Brondino MJ : Outcomes of a randomized, controlled community-level HIV prevention intervention for adolescents in low-income housing developments. Aids. 19(14) : 1509-1516, 2005.

6) Krahe B, Abraham C, Scheinberger-Olwig R : Can safer-sex promotion leaflets change cognitive antecedents of condom use? An experimental evaluation. Br J Health Psychol. 10(Pt 2):203-220, 2005.

7) Borgia P, Marinacci C, Schifano P, Perucci CA : Is peer education the best approach for HIV prevention in schools? Findings from a randomized controlled trial. J Adolesc Health. 36(6) : 508-516, 2005.

8) El-Bassel N, Witte SS, Gilbert L, Wu E, Chang M, Hill J, Steinglass P : Long-term effects of an HIV/STI sexual risk reduction intervention for heterosexual couples. AIDS Behav. 9(1) : 1-13, 2005.

9) Peragallo N, Deforge B, O'Campo P, Lee SM, Kim YJ, Cianelli R, Ferrer L : A randomized clinical trial of an HIV-risk-reduction intervention among low-income Latina women. Nurs Res. 54(2) : 108-118, 2005.

10) Kirby DB, Baumler E, Coyle KK, Basen-Engquist K, Parcel GS, Harrist R, Banspach SW : The "Safer Choices" intervention: its impact on the sexual behaviors of different subgroups of high school students. J Adolesc Health. 35(6) : 442-452, 2004.

11) Bolu OO, Lindsey C, Kamb ML, Kent C, Zenilman J, Douglas JM, Malotte CK, Rogers J, Peterman

TA : Is HIV/sexually transmitted disease prevention counseling effective among vulnerable populations?: a subset analysis of data collected for a randomized, controlled trial evaluating counseling efficacy (Project RESPECT). Sex Transm Dis. 31(8) : 469-474, 2004.

12) DiClemente RJ, Wingood GM, Harrington KF, Lang DL, Davies SL, Hook EW, 3rd, Oh MK, Crosby RA, Hertzberg VS, Gordon AB, Hardin JW, Parker S, Robillard A : Efficacy of an HIV prevention intervention for African American adolescent girls: a randomized controlled trial. Jama. 292(2) : 171-179, 2004.

13) Di Noia J, Schinke SP, Pena JB, Schwinn TM : Evaluation of a brief computer-mediated intervention to reduce HIV risk among early adolescent females. J Adolesc Health. 35(1) : 62-64, 2004.

14) Baker SA, Beadnell B, Stoner S, Morrison DM, Gordon J, Collier C, Knox K, Wickizer L, Stielstra S : Skills training versus health education to prevent STDs/HIV in heterosexual women: a randomized controlled trial utilizing biological outcomes. AIDS Educ Prev. 15(1) : 1-14, 2003.

15) Robinson BB, Uhl G, Miner M, Bockting WO, Scheltema KE, Rosser BR, Westover B : Evaluation of a sexual health approach to prevent HIV among low income, urban, primarily African American women: results of a randomized controlled trial. AIDS Educ Prev. 14(3 Suppl A) : 81-96, 2002.

16) Ehrhardt AA, Exner TM, Hoffman S, Silberman I, Leu CS, Miller S, Levin B : A gender-specific HIV/STD risk reduction intervention for women in a health care setting: short- and long-term results of a randomized clinical trial. AIDS Care. 14(2) : 147-161, 2002.

17) St Lawrence JS, Wilson TE, Eldridge GD, Brasfield TL, O'Bannon RE, 3rd : Community-based interventions to reduce low income, African American women's risk of sexually transmitted diseases: a randomized controlled trial of three theoretical models. Am J Community Psychol. 29(6) : 937-964, 2001

18) PAHO , WHO : Promotion of Sexual Health-Recommendations for Action. Antigua Guatemala, 2001.

19) 池上千寿子：若者の性と保健行動および予防介入についての考察．日本エイズ学会誌，5(1) : 48-54, 2003.

20) Kauth MR, St. Lawrence JS, Kelly JA : Reliability of retrospective assessments of sexual HIV risk behavior: a comparison of biweekly, three-month, and twelve-month self-reports. AIDS Education and Preventin, 3(3) : 207-214, 1991.

21) Dare OO, Cleland JG : Reliability and validity of survey data on sexual behavior. Health Transition Review, Supplement 4 : 93-110, 1994.

22) Misovich SJ, Fisher WA, Fisher JD : A measure of AIDS prevention information, motivation, behavioral skills, and behavior. (Davis CM, Yarber WL, Bauserman R, Schreer G, Davis SL eds), Handbook of sexuality-related measures, London, SAGE publication, 328-337, 1998.

23) Kalichman SC, Kelly JA, Stevenson LY : Priming effects of HIV risk assessments on related perception and behavior : An experimental field study. AIDS Behavior, 1(1) : 3-8, 1997.

24) Weinhardt LS, Forsyth AD, Carey MP, Jaworski BC, Durant LE : Reliability and validity of self-report measures of HIV-related sexual behavior : Progress since 1990 and

recommendations for research and practice. Archives of Sexual Behavior, 27(2) : 155-180, 1998.

25) 古嶺敏子，木原雅子，市川誠一，木原正博：性行動に関する質問票の信頼性に関する研究. 日本エイズ学会誌，8(2) : 115-122，2006.

26) Global HIV prevention working group : Global mobilization for HIV prevention: A blue print for action. July 2002.

27) UNAIDS : 2004 report on the bal AIDS epidemic : 4th global report. June 2004.

28) 木原正博，木原雅子：わが国の予防対策の歴史と展望. 日本エイズ学会誌，6(3) : 107-109, 2004.

29) 竹原健二，三砂ちづる，本田靖：高校生における性行動と性教育に対するニーズ. 民族衛生，72(6) : 215-224，2006.

添付1 「エイズ予防に関する情報」の質問項目

<健康と性に関する調査>

以下の文章を読み、選択肢の番号で当てはまると思うもののボタンをチェックしてください。 番号は以下を表します：

1＝強くそう思う
2＝いくらかそう思う
3＝どちらでもない
4＝あまりそう思わない
5＝まったくそう思わない

1. 血や精液の中には、エイズの原因となるウィルス（ヒト免疫不全ウィルス。以下HIV。）が他の体液の中よりも多く存在する。
2. 2005年現在HIVに感染している日本人(発症している人+していない人)は、推定10,000人である。
3. コンドームを使用しなくても、オーガズムに達する前にペニスを体外に出せば、HIV感染の可能性がきわめて低い程度までリスクを抑えることができる。
4. HIVに感染した人（以下HIV感染者）と薬物（ドラッグ）の注射針を共用しても、エイズが発症する可能性はそれほど高くない。
5. 最近では、輸血によってHIVに感染する可能性はほとんどない。
6. 無防備なオーラルセックスは、無防備な膣性交より、HIVに感染する可能性は低い。
7. クラミジアなどの性感染症にかかっていると、HIVに感染しやすくなる。
8. HIVに感染した場合、ほとんどの人は重大な病気の症状をはっきりと示すものである。
9. HIVに感染していても、エイズの症状が出る前は伝染させる可能性は低い。
10. HIVは、くしゃみや咳では伝染しない。
11. 唾液からHIVに感染した例はない。
12. HIVに感染しても5年以上エイズを発症しないことがある。
13. 献血をしてHIVに感染した例がある。
14. 病院での採血や点滴、手術等の医療行為でHIVに感染した例がある。
15. HIV感染者が使った可能性のある水飲み場や公衆便所を使うのは危険である。
16. 体育館（ジム）やスポーツクラブなどで、感染者の汗からHIVに感染した例がある。
17. HIV感染者とキスをすると、感染する可能性がある。
18. 女性のHIV感染者が妊娠しても胎児に感染することはない。
19. HIVは、蚊が媒介して伝染することはない。
20. 性行為では、男性から女性にHIVを感染させる可能性の方が、女性から男性に感染させる可能性よりも高い。
21. コンドームは2カ月までなら財布などに保管しても大丈夫である。
22. コンドームを使ってHIV感染のリスクを効果的に抑えるためには、性行為の前に装着しなければならない。
23. 一方の血液・膣分泌液・精液と他方の血液が直接接触しない限り、HIVは感染しない。
24. コンドームには食品同様「使用期限」があり、期限を過ぎた製品を買ってはならない。
25. 避妊用殺精子剤（ゼリー、錠剤、フィルム）は避妊と同時にHIVを殺す効果がある。
26. 献血のときに同時にHIV検査をすることができる。
27. HIVに感染しているかどうかを調べる検査を受ける場合、検査担当者に氏名を明かさなければならない。

28. エイズ発症者が調理した食品を食べるとHIVに感染することがある。
29. HIVに感染した子供は他の子供に感染させやすい。
30. HIV感染者とコップや食器などを共用するのは危険である。
31. エイズ患者の治療をしたために大勢の医療従事者がHIVに感染している。
32. 家庭のペットを介してHIVが人間に感染することがある。
33. 安全でないセックスをし、2週間後にHIV検査を受けて結果が陰性だった場合、HIVに感染していないことは確実である。
34. コンドームを正しく使用すれば、性行為による HIV 感染のリスクを大幅に下げることができる。
35. セックスをする前に相手のセックス歴やライフスタイルを確認できれば、コンドームを使用する必要はない。
36. 初めて知り合ったときの行動や態度をみれば、その人が HIV に感染しているかどうかは自ずとわかる。
37. ほんとうにコンドームを使う必要があるのは、ゆきずりの関係の場合だけである。
38. これから性的関係を持つかも知れない相手が HIV に感染しているかどうかは、相手の服装や外見から見分けられる。
39. 相手のことを十分に知ったと感じたら、もう安全なセックスを心がける必要はない。
40. パートナーにセックス歴を聞くのは、その人と安全なセックスをすべきかどうかを決めるよい手がかりになる。
41. 相手がゲイや薬物常用者などのいわゆるハイリスクグループに属していない限り、HIVに感染することをそんなに心配する必要はない。
42. 二人が互いにほかの人とはセックスをしないなら、安全なセックスを心がける必要はまったくない。
43. 都会に住む人は安全なセックスのガイドラインを守るべきだが、田舎に住む人はその必要はない。
44. 検査で陰性であれば、これからも同じ行動をしていてもHIVに感染する可能性は低い。

以下の質問の回答をスペース内に書き込んでください。

45. HIV検査を受けたいときに、どこに行ったらよいでしょうか？知っている場所をいくつでも書いてください。
( )

46. 感染して相談したいときに、どこに行ったらよいでしょうか？知っている場所をいくつでも書いてください。
( )

添付 2　「エイズ予防の動機」の質問項目

以下の質問では、あなたが来月に思うこと、行動することについてお聞きします。質問の内容によっては 1 カ月以上の長期にわたるケースもあると思いますが、調査の目的上、に限定して答えてください。　それぞれの文章を読み、あなたの気持ちに最もよく当てはまると思う選択肢をチェックして下さい。

＜例＞

これから 1 ヶ月の間に新車を買うことは……

とてもよいことだと思う　|_X_|___|___|___|___|　とてもよくないことだと思う

とても嫌だ　|___|___|___|_X_|___|　全く構わない

とても気分がいい　|___|___|_X_|___|___|　とても不愉快だ

次の質問では、性行為（以下、セックス：ペニスを膣または肛門に挿入する行為）についてお聞きします。

1　これから 1 ヶ月の間にまったくセックスをしないのは…….

とてもよいことだと思う　|___|___|___|___|___|　とてもよくないことだと思う

とても嫌だ　|___|___|___|___|___|　全く構わない

とても気分がいい　|___|___|___|___|___|　とても不愉快だ

2　私のことを大切に思ってくれる人（例えば両親や兄弟、姉妹、先生、友人など）は、私がこれから 1 ヶ月の間にセックスをすべきでないと考えている。

全くその通り　|___|___|___|___|___|　全くそうではない

3　これから 1 ヶ月の間、まったくセックスをしないつもりだ。

その確率はとても高い　|___|___|___|___|___|　その確率はとても低い

（注意）以下の質問の多くは、性的関係のあるパートナー（以下パートナー）にかかわることについて、あなたの気持ちをお聞きするものです。現在そのようなパートナーがいない場合は、いると仮定して答えてください。　次の質問では、安全なセックスの問題をパートナーと話し合うことについてお聞きします。

4　これから 1 ヶ月の間、安全なセックス（HIV の感染を防ぐ方法）について、セックスをする前にパートナーと話し合うことは……

とてもよいことだと思う　|___|___|___|___|___|　とてもよくないことだと思う

とても嫌だ　|___|___|___|___|___|　全く構わない

とても気分がいい　|___|___|___|___|___|　とても不愉快だ

5　私のことを大切に思ってくれる人（例えば両親や兄弟、姉妹、先生、友人など）が、私がセックスをする前に安全なセックスについてパートナーと話し合うべきだと考えている。

全くその通り　|___|___|___|___|___|　全くそうではない

6　もしこれから１ヶ月の間にセックスをするとしたら、安全なセックスについて、セックスをする前にパートナーと話し合うつもりだ。

その確率はとても高い　|___|___|___|___|___|　その確率はとても低い

次の質問では、いつも安全なセックスをするようパートナーを説得することについてお聞きします。

7　これから１ヶ月の間に、いつも安全なセックス（コンドームを使用するなど）をするようセックスパートナーを説得することは…

とてもよいことだと思う　|___|___|___|___|___|　とてもよくないことだと思う
とても嫌だ　|___|___|___|___|___|　全く構わない
とても気分がいい　|___|___|___|___|___|　とても不愉快だ

8　私のことを大切に思ってくれる人（例えば両親や兄弟、姉妹、先生、友人など）は、私がいつも安全なセックスをするようパートナーを説得すべきだと考えている。

全くその通り　|___|___|___|___|___|　全くそうではない

9　もしこれから１ヶ月の間にセックスをするとしたら、いつも安全なセックスをするようパートナーを説得するつもりだ。

その確率はとても高い　|___|___|___|___|___|　その確率はとても低い

次の質問では、コンドームを買うことについてお聞きします。

10　これから１ヶ月の間に、私がコンドームを買うのは……

とてもよいことだと思う　|___|___|___|___|___|　とてもよくないことだと思う
とても嫌だ　|___|___|___|___|___|　全く構わない
とても気分がいい　|___|___|___|___|___|　とても不愉快だ

11　私のことを大切に思ってくれる人（例えばパートナーや両親、兄弟、姉妹、先生、友人など）は、これから１ヶ月の間に、私がコンドームを買うべきだと考えている。

全くその通り　|___|___|___|___|___|　全くそうではない

12　これから１ヶ月の間に、私はコンドームを買うつもりだ。　（以下省略）

添付3　「エイズ予防のスキル」の質問項目

下記の文章を読み、あなたの気持ちに最もよく当てはまると思う選択肢をチェックしてください。似たような質問が繰り返されている、あるいは答えにくい質問があると感じるかも知れませんが、質問文はある一定の決まりに沿って組み立てられています。
どの質問も調査目的にとって重要なものですので、ご面倒でもすべての質問にお答えてください。

次のことはあなたにとって難しい、または易しいでしょうか。最もよく当てはまると思う答にチェックしてください。

1　自分でコンドームを買うこと。

1＝とても易しい　2＝易しい　3＝どちらでもない　4＝難しい　5＝とても難しい

2　パートナーがHIV感染のリスクを減らすためにコンドームを使用することを話題にしたとき、同意すること。

1＝とても易しい　2＝易しい　3＝どちらでもない　4＝難しい　5＝とても難しい

3　あなたのパートナーにコンドームを使用した安全なセックスをしようと説得すること。

1＝とても易しい　2＝易しい　3＝どちらでもない　4＝難しい　5＝とても難しい

4　車を運転しているときなど、セックスとは無関係の状況で安全なセックス（いつもコンドームを使用する）についてパートナーと話し合うこと。

1＝とても易しい　2＝易しい　3＝どちらでもない　4＝難しい　5＝とても難しい

5　相手がゆきずりの関係（1回きり）のセックスであっても、必ずコンドームを使用すること。

1＝とても易しい　2＝易しい　3＝どちらでもない　4＝難しい　5＝とても難しい

6　酔っているときや薬物（ドラッグ）を使っていても安全なセックス（いつもコンドームを使用する）ができる。

1＝とても易しい　2＝易しい　3＝どちらでもない　4＝難しい　5＝とても難しい

7　あとでセックスをするかも知れないと思ったら、飲酒や薬物は控える。

1＝とても易しい　2＝易しい　3＝どちらでもない　4＝難しい　5＝とても難しい

次のことをあなたはうまくできる、またはできないと思いますか。最もよく当てはまると思う選択肢をチェックしてください。

（以下省略）

添付4　「エイズ予防行動」の質問項目

以下の質問では、文中に示された期間について、あなたの行動をお聞きします。

1　過去1カ月間にセックス（ペニスを膣または肛門に挿入する行為）をしましたか。どちらかにチェックしてください。

はい（過去1カ月間にセックスをした）　いいえ（していない）

2　これまでにセックスをしたことがありますか。どちらかにチェックしてください。

はい　　いいえ

3　過去1カ月間のあなたとパートナーの両方に当てはまるものにどちらかにチェックしてください。

A　パートナー全員と私はHIV検査を受けて陰性だった。
B　パートナーと私は、お互い以外の人とセックスをしたことはない。
C　A、Bいずれもパートナーにも私にも当てはまらない。
D　過去1カ月間、私にはパートナーがいなかった。

4　あなたには今現在、セックスするパートナーがいますか。どちらかにチェックしてください。

はい　いいえ

5　上記4で「はい」と答えた方に伺います。あなたとパートナーは、お互い以外の人とはセックスをしない間柄ですか。当てはまるもの1つだけにチェックしてください。

はい　いいえ　わからない　当てはまらない（性的関係のある相手はいない）

6　過去1カ月間に、セックスをする前に安全なセックスについてパートナーと話し合いましたか。当てはまるもの1つだけにチェックしてください。

はい　いいえ　当てはまらない（過去1カ月間にセックスをしなかった）

7　過去1カ月の間にコンドームを買いましたか。当てはまるもの1つだけにチェックしてください。

頻繁に買った　数回買った　1回買った　買っていない

8　過去1カ月の間、簡単に取り出せるところにコンドームを用意しておきましたか。当てはまるもの1つだけにチェックしてください。

いつも用意していた　だいたい用意していた　ときどき用意していた
めったに用意していなかった　まったく用意していなかった

（以下省略）

添付５　「エイズ予防行動」の質問項目その２

次の質問では、HIVに感染しているかどうかを調べるための血液検査（以下HIV検査）についてお聞きします。

21　過去１カ月間にあなたはHIV検査を受けましたか。当てはまるもの１つだけにチェックしてください。

はい　いいえ　当てはまらない（セックスも薬物（ドラッグ）注射もしたことがない）

22　過去１カ月間にあなたはHIV検査を予約しましたか。当てはまるもの１つだけにチェックしてください。

はい　いいえ　当てはまらない（セックスも薬物（ドラッグ）注射もしたことがない）

23　あなたはこれまでにHIV検査を受けたことがありますか。どちらかに○をつけてください。

はい　いいえ

24　これまでにHIV検査を受けたことがある場合、それはどこで受けましたか。当てはまるものにチェックしてください。

A　保健所での自主的検査
B　病院・クリニックでの自主的検査
C　自己検査キット
D　妊娠、手術等の際の検査
E　その他